



3年生 福祉体験学習～盲導犬の活動を通して、福祉環境を考えました～

12月12日に、市社会福祉協議会に御協力御支援をいただき、田平町在住の大津かほるさんをお招きし、視覚障害者から見た社会の在り様や盲導犬についてお話をいただきました。若い頃に失明されてからの人生、子育て、盲導犬との出会い等々初めて聞くことばかりで、生徒も私も聞き入ってしまいました。体育館は寒かったのですが、3年生は真剣に講話を聞いていました。人間はほとんどの情報を視覚から取り入れます。視覚情報がないと、不安になりますし恐ろしささえ感じることにあります。講話の後、アイマスク体験を行いました。生徒のみなさんは何を感じ、どのように考えたでしょうか。相手の立場に立つこと、気配りができる人になること、困った人に声をかけること、少しでも心に残ってくれたら嬉しいですね。



寒いのに、ご主人様の話を聞いてくれるなあ。盲導犬は県内4頭しかいないから、皆さんが障害者の方を助けてくださいね。



薬物乱用防止教室～NO！薬物乱用「ダメ！ゼッタイ！」～

12月19日に、全校生徒を対象に薬物乱用防止教室を行いました。講師は、江迎警察署スクールサポーター 松山今一さん でした。数年前、長崎県内でも高校生が大麻所持で逮捕されるという事案がありました。この教室は、中高生が薬物の恐ろしさを理解し、生涯にわたって薬物に手を出すことなく自分の身を守るために実施されます。今は、少し遠い存在かも知れませんが、いつ何時友だちや先輩を通じて、あるいはネット・SNS等を通じて魔の手が伸びてくるかもしれません。その時のために、今理解しておいてほしいのです。一生を棒にふることにあります。

3年生の春田さんが講演内容をふまえたお礼の言葉を述べました。



今日で、平成29年が終わります。天皇陛下の御退位で平成の世もカウントダウンとなりました。3年生の受験もカウントダウンですね。この時期、3年生は受験に対する不安や成績の伸び悩みなどで、とても気持ちが敏感になり不安定になります。表情に表れなくても、心は違うのです。ここには、相手への気遣いや心配りが必要だと思います。だからといって現実からは逃げることはできません。人生で初めて乗り越えなければならない「壁」なのです。自分の力で、この「壁」をよじ登り、「壁」の向こう側の世界を見てほしいと思います。応援しています。

【保護者の皆様へ】

今年も1年間、本校の教育活動に対しまして御理解と御協力、御意見等ありがとうございました。学校としても生徒第一主義で取り組んできましたが、至らない点がたくさんあったと感じております。生徒の成長する力をより一層引き出すことができるよう教育実践を積み重ねて参りたいと存じます。1年間、ありがとうございました。